

# 事業計画書

一般財団法人博慈会記念財団  
自 平成 26年 4月 1日 至 平成 27年 3月 31日

## 基本方針

我が国では、急速に進展する高齢化により、慢性的な疾病や複数の疾病を抱える患者が中心となるなど、医療・介護サービスを必要とする患者の疾病構造が多様化することが見込まれています。

この疾病構造の多様化に対応し、患者1人1人の状態に応じた適切な医療を提供するための施策として、地域包括ケアシステムの構築が求められております。また、これに伴う施策の一環として医療を担う人材確保の推進、具体的には、医師養成数の増加、医師の診療科偏在・地域偏在対策、看護職員の確保と資質向上、チーム医療の推進などが政策課題として挙げられています。

当財団は、これらの政策課題とあいまって、社会貢献活動を図る活動を行う団体や個人を助成し、あるいは自ら行うことで、真に豊かな社会の実現に寄与することを掲げることを目標としています。

このため、当年度においては、奨学金貸与事業の対象者を広げることで、利用しやすい環境を整えてまいります。具体的には、以下のように対象者を広げたことをいいます。

- n 看護学生だけでなく、医療系分野の研究・臨床・教育を志している方
- n 日本の高等学校3学年に在籍しているだけでなく、社会人や現に医療系分野の研究・臨床・教育の学校に在籍している方

また、応募しやすい環境を整えるためホームページ等の整備充実を図ってまいります。

## 事業内容

### 1.奨学金貸与事業

以下のいずれかを満たす優れた学生等であって経済的理由により修学に困難があると認められたものを選出するため奨学金貸与先の募集を行います。

1. 医療系分野の研究・臨床・教育に関する日本の大学等（大学、大学院、高等専門学校及び専修学校の専門課程をいう。）に在籍している方、
2. 日本の高等学校の第3学年に在籍する者または就業者で、医療系分野の研究・臨床・教育に関する大学等への進学を希望している方

なお平成26年度の募集に当たっては、広く応募者を募る為、ホームページにより当財団の設立趣旨等の説明を行い財団の事業活動の周知に努めます。

<平成26年度対象者> 月額5万円（10名）

### 2.公益財団法人への移行準備

情報収集に努める一方、行政庁及び関係先と連絡を密にし、諸規程作成並びに役員会・評議員会開催を行い、公益財団法人への円滑な移行を進めます。

### 3.財団事務局内の整備

公益法人認定申請に伴い、効果的な奨学金貸与事業を行うことができるよう、助成成果のデータベース化を進めると共に、そのデータを有効に生かせるようなデータシステムの構築、非常時のリスク回避を考慮したデータ

の危険分散など、事務所内の IT 整備を行います。なお、公益認定後は、より有益な活動が展開出来るよう最適な情報収集活動の検討を行い、有効なシステム体制の構築を行ってまいります。

#### 4. 奨学生指導の充実

##### (1) 学校訪問などによる連結の緊密化

奨学生が所属する各学校担当課への訪問その他により、学校と当財団相互の連絡を密にし、併せて奨学生との面談を行い、学生を励まし学生生活に活気を与える役割を担います。

##### (2) 奨学生との日常連絡の促進

季節ごとの交歓、および奨学生の近況報告に対する激励などコミュニケーションを図ってまいります。

以上